

整理番号	HT27144	分野	医歯薬学・生活	キーワード:和漢薬
------	---------	----	---------	-----------

富山大学

和漢薬ってこんなに身近にあったんだ！～歴史と最先端科学が語る薬草の底力～

先生(代表者)	伏見裕利(ふしみひろとし)民族薬物資料館・特命准教授				
自己紹介	生薬は身の回りにある動物、植物、鉱物由来のお薬です。身の回りにあるといっても、世の中の1割程度がお薬として使用されているだけです。たったの1割ですが、それぞれ個性を持ち、それぞれにあった使用方法があります。まるで人間のようです。私はなぜお薬として利用されるようになったのか、理解してあげることが好きです。				
開催日時・ 主な募集対象	平成27年8月7日(金)	(対象)	中学・高校生	(人数)	20名
	平成27年8月8日(土)		中学・高校生		20名
集合場所・時間	富山大学和漢医薬学総合研究所 民族薬物資料館			(集合時間)	9:30
開催会場 (集合場所)	富山大学杉谷キャンパス 和漢医薬学総合研究所 民族薬物資料館 住所:〒930-0194 富山市杉谷 2630 アクセスマップ: http://www.u-toyama.ac.jp/access/sugitani/index.html				
内 容					
<p>和漢薬ってどんなもの？お薬といっても、実は普段の食事に入っていたり、近くに生えていたり、意外と身近なところにあります。「こんなものが薬として使われていたなんて！」たくさんの驚きと納得をお土産にしませんか？和漢薬として使われる植物が本来持つ力を、2千年前の古典と最新のCG・シミュレーションによって探ります。世界の民間薬の宝庫「民族薬物資料館」で、和漢薬に直接触れたり香りを嗅いだり、味わったり……。五感をフルに使って和漢薬について学習しましょう。</p>					
   					
スケジュール				持 ち 物	
7日(金)／8日(土)とも同一日程				・筆記用具 (昼食はこちらで用意します。)アレルギーのある方はご自分で昼食の用意をお願いいたします。	
9:30～10:00	受付(民族薬物資料館1F)				
10:00～10:30	開講式(あいさつ、日程説明、自己紹介、科研費の説明)				
10:30～11:00	①講義「民間薬と世界の民族薬物」				
11:00～11:10	休憩・移動				

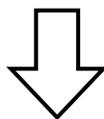
11:10～12:00	②実習「民族薬物資料館 展示室見学」	特記事項 薬膳弁当や薬草ブレンドティーの原材料に、アレルギーを引き起こす食品が含まれる場合があります。受講者には事前にアレルギー調査用紙をお送りしますので、必ず返送してください。
12:00～13:00	昼食休憩(薬膳弁当、ハトムギ茶)	
13:00～13:45	③講義「身近な分子のカタチ」	
13:45～14:00	休憩・移動	
14:00～14:30	④実習「桂枝湯と葛根湯の選別・鑑定」	
14:30～14:40	休憩・実習準備	
14:40～15:40	⑤実習「植物の甘味を比べよう！」 (薬草ブレンドティーで)	
15:40～16:10	クッキータイム(お香体験)	
16:10～16:30	学習の振り返り&発表	
16:30～16:50	修了式 (アンケート記入、和漢薬博士号授与、あいさつ)	
16:50	終了・解散	

《お問い合わせ・お申し込み先》

所属・氏名：	富山大学医薬系事務部 研究協力課 小川 千都世(おがわ ちとせ)
住所：	〒930-0194 富山県富山市杉谷 2630
TEL 番号：	076-434-7684
FAX 番号：	076-434-4656
E-mail：	chitose@adm.u-toyama.ac.jp
申込締切日：	平成27年7月21日(火)

《プログラムのテーマと関係する科研費》

研究代表者	研究期間	研究種目	課題番号	研究課題名
伏見 裕利	H23-25	基礎研究(C)	23501223	日本民間薬の現地調査と民族薬物データベースの充実



★この科研費について、さらに詳しく知りたい方は、下記をクリック！

<http://kaken.nii.ac.jp/>

※国立情報学研究所の科研費データベースへリンクします。